



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2008年8月31日 No.631

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



大井競馬 向側に

ホームセンターを建設

3セク東京競馬(株)が巨大商業施設

施設イメージ

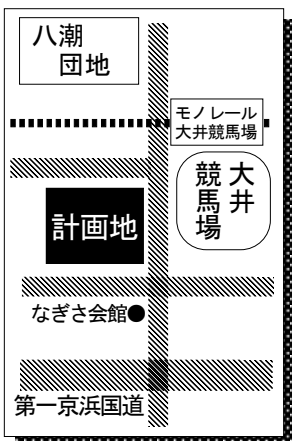
東京競馬(株)のホームページより転載。



東京都競馬株式会社が、大井競馬場前にホームセンター、スーパーなどの巨大商業施設を建設する計画です。平成21年秋以降のオープンで年間300万人の来場、100億円の売り上げが目標。商店街には不況、売り上げ減少に加え大きな打撃です。

東京都競馬(株)の計画によると品川区勝島1丁目(地図参照)に建設する商業施設は、敷地面積が約1万1千400㎡で地上6階建の鉄骨造、ホームセンター・食品スーパー・専門店・フードコートなどが入り、来場者目標は年間300万人、テナント目標売上は年間100億円というものです。

建設予定地は現在、公務員住宅用地で、隣接する大井競馬駐車場と土地を交換して商業施設を建設します。公務員住宅は平成21年に建設の予定です。



東京都競馬

都など出資の3セクが「儲け本位」でいいの!?

大型店や量販店の出店は商店街にとって死活問題。東京都競馬は株式会社とはいえ東京都などが出資する第3セクターです。自らの利益拡大のために巨大商業施設を建設することには3セクのあり方が問われます。

建設予定の巨大商業施設は大井競馬場の向側(地図参照)ですが、隣接地に公務員宿舎の建設が予定(平成21年4月以降)されています。

東京競馬(株)は今回の巨大商業施設計画について、「大井競馬発展に寄与するための駐車場の

有効活用」として、競馬場事業の財政貢献などをコンセプトに検討して決定したと説明しています。コンセプトには賑わい街づくりや地域住民の利便性向上なども掲げていますが、利益拡大が目的。第3セクターが儲け本位でいいのでしょうか。

大型店誘致で商店が激減！ くらしの環境整備は行政の責任

大井町駅前に丸井(現在はヤマダ電機)とイトーヨーカドー、大崎ニューシティはダイエー、品川シーサイド(JT跡)にジャ

東京都競馬株式会社とは

東京都競馬株式会社は競馬など公営競技の施設会社で、東京都および特別区競馬組合が主要株主の「第3セクター」です。現在、大井競馬場などの施設運営だけでなく東京サマーランドや大規模倉庫・流通センターなど物流関係施設の経営も手がけています。今度新たにホームセンターを中心とした巨大商業施設経営にも進出するものです。

スコなど品川区は大規模再開発へ大型店を誘致してきました。その一方で、平成6年に4千件余だった区内の商店数が10年後の平成16年には3千3百余へと激減。商店にとって不況と増税などによる売り上げ減少に加え、量販店や大型店の相次ぐ出店の「トリプルパンチ」です。こうし

たなかで東京都競馬(株)の大型店は区内商店へさらに追い討ちをかけることとなります。商店の減少は、消費者である住民の暮らしに直結します。近所の商店がなくなったら、特に遠くまで買い物に行けない高齢者にとっても「死活問題」。商店街のあり方は住民がくらす環境の問題であり、行政は整備する責任があります。「市場原理」にだけ任せていいものではありません。



無料
法律相談は
9月26日(金) Pm 6:30
みやざき克俊事務所